

万国郵便連合(UPU(Universal Postal Union))の概要

- UPUは、郵便業務の効果的運営によって諸国民の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的として、1874年に設立。2024年に150周年を迎えた。
- 近年、電子商取引を支える国際物流のルール形成機関としての役割への期待が高まっている。
- 現在、192カ国・地域が加盟めどき まさひこ(日本は1877年に加盟)。
- 2022年1月、我が国の目時政彦氏が国際事務局長に就任(任期は4年間。1回のみ再選可、最大で2期8年)。
※ 2021年8月開催(開催地:アビジャン(コートジボワール))の第27回万国郵便大会議にて、目時氏が国際事務局長に選出された。
(有効投票総数(156票)の約3分の2(102票)の票を獲得。)
- 2025年9月の第28回万国郵便大会議(開催地:ドバイ(UAE))において、国際事務局長・次長、管理理事会(CA(Council of Administration))・郵便業務理事会(POC(Postal Operations Council))理事国選挙等を実施。
我が国は、国際事務局長選挙に目時氏を擁立し、再選を果たしたほか、CA・POC理事国に立候補し、当選。

UPUの構造



万国郵便大会議【原則4年ごとに開催・全加盟国で構成】

UPUの最高意思決定機関

UPU条約等の改正、常設機関の理事国選挙、国際事務局長・次長選挙、次回大会議までの研究課題等に関する決議、決定、勧告等を行う

国際事務局(UPU本部)

- ・本部:ベルン(スイス)
- ・職員:約250名
(うち邦人職員12名)
- ・国際事務局長、次長が選挙職

管理理事会(CA: Council of Administration)

【常設(年2回開催)・41理事国】

大会議間のUPUの事業継続を確保する機関
規制、組織等に関する検討が任務

- ・第1～第4委員会
- ・タスクフォース等

郵便業務理事会(POC: Postal Operations Council)

【常設(年2回開催)・48理事国】

郵便業務、郵便金融業務等の技術・業務・経済等における諸問題を共同して研究

- ・第1～第4委員会
- ・タスクフォース等

活動に参加

諮問委員会

利用者・関連事業者も含めて構成

万国郵便連合(UPU) 目時国際事務局長

略 歴

(ふりがな)	めとき まさ ひこ
氏 名	目 時 政 彦
生年月日	1958年10月29日(66歳)
現 職	UPU国際事務局長
1983年 3月	東京大学 文学部社会心理学専修課程 卒業
1983年 4月	郵政省入省(大臣官房人事部 要員訓練課)
1992年 5月	<u>在タイ日本大使館 一等書記官</u>
1997年 7月	<u>郵政省 貯金局 国際業務室長</u>
1999年 8月	<u>第22回万国郵便大会議(北京)第5委員会(郵便金融業務)議長</u>
2003年 4月	<u>日本郵政公社 郵便貯金事業本部 資金運用部長</u>
2006年 9月	内閣官房 郵政民営化推進室 参事官
2007年 10月	郵便事業会社 経営企画部門 国際・調査部企画役
2009年 8月	郵便事業株式会社 国際事業本部 企画役
2011年 4月	<u>日本郵便株式会社 国際事業本部 国際事業部長</u>
2012年 10月	<u>UPU郵便業務理事会(POC)議長就任(任期四年)</u>
2014年 4月	日本郵便株式会社 執行役員
2016年 10月	<u>UPU POC議長再選(任期四年)</u>
2021年 4月	<u>日本郵便株式会社 常務執行役員</u>
2021年 8月	UPU国際事務局長に選出
2022年 1月1日	<u>UPU国際事務局長に就任【現職】</u>

